

# 基礎学力の定着に向けて

～ 小・中が連携した取組を ～



笠岡市教育委員会

笠岡市教育委員会としては、「自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進」を重点施策に掲げ、その中で基礎・基本の確実な定着と主体的な学習態度の育成に取り組んでいます。

この度公表されました岡山県学力・学習状況調査の結果は、児童生徒の学力の一側面を捉えたものであるとともに、実態を客観的にとらえた事実でもあります。また、学力調査結果、児童生徒質問紙調査結果、学校質問紙調査結果等は、教師の日々の実践を今一度振り返るよい材料と言えます。

そこで、結果に一喜一憂するのではなく、各学校、中学校ブロックごとで結果をきちんと分析し、具体的な課題を共有し、その改善に向けた取組等について十分検討していただきたいと思います。まず、基礎学力の定着に向けて、小・中学校が連携して取組を推進していただきますようよろしくお願いします。



## 「授業改善」の視点とは…

子ども達に「確かな学力」や「基礎学力」を身に付けさせるには、教師自身が1時間1時間の授業において具体的な指導方法の改善を行い。日々の授業を充実させていくことが重要です。「授業力」の構成要素は、おおまかに「教材解釈・教材開発」「児童生徒理解・学習集団づくり」「授業計画・授業構想・授業展開」「授業分析・授業評価」にまとめることができます。これらの要素をもとに、校内において日々の授業を点検・確認していただきたいと思います。また、その際に「授業点検シート」を活用していただくとともに、PDCAサイクルを機能させながら学校全体として教職員が一丸となって取り組むこともたいへん重要です。

学力向上には、

- ①理解（わかる） ②記憶（覚える）
- ③習熟（慣れる）の3つが必要です。

- ・ねらいに基づいた単元計画
- ・効果的な授業の組立及び展開
- ・発話（発問・指示・説明）の工夫等、児童・生徒への適切な働きかけ
- ・規律のある授業
- ・繰り返し学習（反復学習）
- ・ねらいを達成するためのICT活用授業の実践
- ・家庭学習等との連動

- ・児童・生徒の特性・実態及び既習事項・スキルの定着状況等の把握
- ・学習意欲や自己有用感を引き出す規律のある授業
- ・個に応じたきめ細やかな指導
- ・互いに認め合い高め合うための集団づくり

- ・授業計画
- ・授業構想
- ・授業展開

- ・教材研究
- ・教材解釈
- ・教材開発

## 授業力

- ・児童生徒理解
- ・学習集団づくり



- ・授業分析
- ・授業評価

- ・児童生徒の実態の理解
- ・単元や教材の深い理解
- ・学ぶ意欲を引き出す教材
- ・学ぶ意味を考えさせるために有効な教材
- ・効果的な資料の収集と提示

- ・本時のねらいに基づく教師の評価
- ・授業についての児童・生徒からの評価
- ・児童・生徒の学習成果の客観的な分析・評価
- ・ICT活用等による学習指導

### 【授業を支えるもの】

- ◇家庭学習の充実（小中連携による「手引き」作成）
  - ・習得すべき内容に係る反復練習
  - ・一人調べ
- ◇小テスト等の扱いの明確化